

ローマンシェード取扱説明書

ツインシェード ループレス式

販売店様へのお願い この取扱説明書は、店名・電話番号をご記入の上、必ずお客様へお渡し頂きますようお願い致します。

販売店名：

このたびはカワシマセルコンローマンシェードをお買い上げいただき誠にありがとうございます。
ご使用の際に、この取扱説明書をよくお読みの上、正しくご使用くださいますようお願い申し上げます。

お読みになった後は、大切に保管ください。

1 安全にお使いいただくために

●この表記はお買い上げいただいた製品を正しく取り付け、安全にご使用いただくために、特に注意していただくことを表示してあります。取り付け前にこの取扱説明書をよくお読みになり、適切な取り扱いをしていただきますようお願い致します。

●表示内容を無視して誤った使用方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

警告

この表示の欄は「死亡又は重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

注意

この表示の欄は「傷害を負う可能性又は物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

取り付け上のご注意

警告

子供は思わぬ行動を取ります。大人の常識は通用しません。子供を操作コードで遊ばせないように注意してください。

警告

小さなお子さまがいるご家庭では、ブラインドやスクリーンのコードやチェーン類の近くにソファやベッドを置かないでください。ソファやベッドの上がれば手が届き、事故の恐れがあります。

■安全対策品をご使用になっても、事故が完全に回避されるわけではありません。コードやチェーンの危険性を十分に認識したうえでご使用をお願いします。

一般社団法人 日本インテリアファブリックス協会

警告

●製品の取り付け、取り外しは必ず2人以上で行なってください。(取り付け、取り外し時落下の危険を防ぐためです)

●ブラケットの取り付けにあたっては、取り付け部の材質や構造に適したビスを使用し、確実に固定してください。なお木部下地板厚は15mm以上必要です。

●付属のブラケット取り付け用ビスは本採用ですので、木質以外の下地(石膏ボード等)にはご使用になれません。

●取り付けが不完全ですと製品が落下してケガをしたり、物を破損したりする恐れがあります。

●急激な操作や無理な操作、引っ張りすぎ等は、製品の落下・破損などによる思わぬ事故の原因となりますので、絶対におやめください。

●製品に物を吊り下げたり、無理に引っ張ったり、ぶらさがりすることは絶対におやめください。製品が破損・落下して思わぬ事故の原因となります。

注意

●必ず操作コードを持ってゆっくり操作してください。幕体やウエイトバーを持って操作しないでください。(落下や故障の原因となります)

●昇降・作動の範囲内に破損の恐れのある物や操作の障害となる物を置かないでください。また操作の際は範囲内に入らないことを必ず確認してください。(箇所が破損したり、人がケガをする原因となります)

●室内用です。屋外への取り付けはおやめください。

●水濡れ(雨漏り等)の発生が予想される場所への取り付けは絶対におやめください。

●製品は水平に取付けてください。

●部屋の隅や奥の隅に設置している時は、製品の破損や思わぬ事故の恐れがありますので、必ず窓を開めるか製品を巻き上げてください。

●幕体に殺虫剤をかけたり、シンナーやベンジン等の揮発性の有るもので拭かないでください。(生地が変色したり 変質したりする原因となります)

●メカ部の分解は破損や故障の原因となりますので、絶対におやめください。

●この製品は生地等を中心に構成されていますので、火のそばでの使用は絶対におやめください。(火に近づけると防炎品でも焦げたり穴が開いたりします)

2 構造及び部品名称

【ワンチェーン】

部品名

- ① ヘッドレール
- ② 挿入式面ファスナー
- ③ ブラケット
- ④ プーリーセット
- ⑤ 操作コード
- ⑥ グリップ
- ⑦ コード止め

- ⑧ キャップ
- ⑨ 昇降コード
- ⑩ 巻き取りドラム
- ⑪ スピードコントローラー
- ⑫ コードアジャスタ(セーフティータイプ)
- ⑬ ウエイトバー
- ⑭ ウエイトバーキャップ

製品幅 (cm)	付属部品	
	ブラケット	ブラケット取付けネジ (ナベφ3.5×20)
~ 120	2個	2本
~ 200	3個	3本
~ 300	4個	4本
~ 400	5個	5本

※正面付け・天井付け共通ブラケット

3 製品の取付け・取外し方法

■取付け寸法図 (mm)

〈天井付け〉

〈正面付け〉

※取付けネジは下地位置の状況に応じて図のどちらかの位置に取付けてください。
※幅が2010mmを超える製品を正面付けする場合は、ブラケットの上のネジ穴で固定してください。

■ブラケットの取付け位置

※両側のブラケットは、ヘッドレール両端から約10cmの位置に取り付けてください。

※ブラケットが3個以上の場合は、それぞれ等間隔になるように取り付けてください。

■ヘッドレール(本体)の取付け/取外し方法

〈取付け方法〉

- ①ヘッドレールをブラケットの仮止めフックに引っ掛けてください。
- ②奥に押し込んでください。

〈取外し方法〉

- ①ブラケットの解除ボタンを押しながら、ヘッドレールを手前に引いてください。
- ②本体を仮止めフックから外してください。

警告

本体取付け後、確実に本体がブラケットに固定されているか確認してください。

4 操作方法

注意

- 次の操作は部品が破損し、昇降動作ができなくなる恐れがあるため、おやめください。
 - ▶ 幕体、ウエイトバーを直接手で引く操作。
 - ▶ 幕体を一番上まで上げ切った状態で、さらにグリップを強く引く操作。
 - ▶ 勢いよく幕体をたたみ上げ切る操作。
 - ▶ 幕体を上げる時、操作コードを最後まで引き出し、さらに引く操作。
 - ▶ グリップを引いた状態で手を離す操作。
- 前幕がたたみ上げられた状態で後幕を降ろす場合、前幕に引っ掛かって下がらない恐れがあります。一度前幕を少し降ろしてから後幕を操作してください。
- 前幕をたたみ上げる際に、後幕のグリップが前幕に乗ってしまう場合があります。一度前幕を降ろしてグリップを外してから、再度操作してください。

前幕・後幕の識別

室内側

前幕 (プーリーの
手前側のグリップ)

窓側

後幕 (プーリーの
奥側のグリップ)

■幕体の上げ方

●グリップを引くと幕体上がり、手を止めると、幕体も止まります。グリップを上に戻し、引いて戻す操作を繰り返すことで、幕体が上まで上がります。

■幕体の降ろし方

①グリップを2cmほど下に引き(①)、上に戻してください(②)。クラッチが解除され、適度な速度で自動降下します。

②途中で止める場合は、再度グリップを握り、10cm以上引いて確実にストップがかかっていることを確かめてから、グリップを上に戻してください。

※幕体が上まで置かれた状態から降ろさない場合は、ウエイトバーを軽く引っ張りながら、幕体を降ろす操作を繰り返してください。(ウエイトバーを強く引っ張りすぎないでください。コードアジャスタが分離します。)

5 幕体の取付け・取外し方

幕体の取外し方法

【手順1】幕体を下しきります。

【手順2】幕体から昇降コードを抜き取ります。
※最下部のコードアジャスタから昇降コードをほどき、コードアジャスタをリングテープから取り外します。
※かえしをさけるようにひねると外れますが、外しにくい場合は無理に外す必要はありません。

【手順3】幕体を取外します。

部材の取外し方法

■下端ウエイトバーの外し方

- ブレンスタイル シャープシェードスタイル
- シャープシェードスタイル

シャープシェードスタイルは、リングテープ上部のポケットからバーを引き抜くことができます。

幕体のクリーニングについて

- 部材のついている面を内側に屏風状にたたみ、洗濯ネットに入れて洗ってください。
- 幕体の裏面に表示してある洗濯絵表示ラベルにしたがってください。

幕体の取付け方法

【手順1】幕体を取付けます。

【手順2】部材を取外した逆の手順で部材をセットしてください。
※昇降コードの長さは、コードアジャスタで調節できます。

各スタイルの下部取付け方法

- ①最下部のリング(ループ)にコードアジャスタを取り付けます。
- ②幕体の丈のバランスを調整しながら昇降コードをコードアジャスタにしっかりと巻きつけます。
- ③ウエイトバーを取り付けます。

おことわり

- 縫製加工上のマーキング(チャコ/紫色)が残っていることがありますが、色は数日程度で消えます。早く消したい場合は以下の要領で行なってください。
 - ①水につけた布を軽くしぼります。 ※濡らす時は蒸留水を使うとよりきれいに仕上がります。
 - ②マーキングが残っている箇所を布で軽くたたき落とすようにして、濡らします。 ※綿等、縮みやすい素材は濡らし過ぎないように注意してください。
- 製品仕様は予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

故障・修理について

お買い上げ頂いた販売店へご連絡ください。購入先がご不明の場合は、弊社製品を取扱っているお近くのインテリア専門店などにお問い合わせください。